

1. 秋田看護福祉大学 建学の精神と教育目標

建学の精神 「真理・調和・実学」

秋田看護福祉大学では、建学の精神を支柱として、学部の人材育成に関する目的と教育目標を次のように定めています。

「幅広い教養教育との密接な関連のもとに保健・医療・福祉領域における奥深い専門教育を教授し、豊かな人間性と知性、高度な専門知識と技術を身につけて社会に貢献できる人材を養成するとともに、独創的で実際的な研究活動を行い、その研究成果を還元することにより、地域社会や国際社会の発展に寄与することを目的とする」 (学則第1章第1条)

また、看護学と社会福祉学の専門性と独自性を尊重しつつ、学科ごとの教育目標を定めています。

看護学科 「生命に対する深い尊厳の心を持ち、対象者がどのような援助を求めているかを正確に把握し、常に向上心を持って適切な看護サービスを提供できる看護職者を養成する」

看護学科「養成する人材像」

- 1) 幅広い教養を身につけ、人権や生命の尊厳への深い理解と豊かな人間性を有する人材。
- 2) 看護の専門知識と技術を学び、科学的な根拠に基づいた適切な判断能力と問題解決能力を有する人材。
- 3) 医療を支える優れたケアを提供するための最善の仕組みを創造し、高齢化に即した看護を実践する能力を有する人材。
- 4) 社会の変化に柔軟に対応し、看護職者として、保健・医療・福祉サービスのマネジメント能力を有する人材。
- 5) 急速に進展する医学・医療に即応できる判断能力、応用能力、自己啓発能力を有する人材。

- 6) 地域の健康問題とその影響因子を的確に把握し、個人・家族・集団のニーズに合った適切な指導や援助を実践できる人材。
- 7) 女性の健康問題や妊娠・分娩・産褥期の母子の状況を的確に把握し、適切な看護と助産を実践できる人材。
- 8) 他の職域スタッフと連携を図りながら、増大・複雑化する保健・医療・福祉のニーズに対応した包括的サービスを実践できる人材。
- 9) 国際保健の分野で活躍できる人材。－ 率先して地域にとけ込み、健康問題に対する住民教育を実践し、ヘルスケア・チームにおける指導的能力を発揮できる看護職 －

**福祉学科 「社会福祉学という「知」と「実践」を統合した
学問を機軸に、学究の営みに邁進し、共生社会の実現に向け
て創造的な提言を行い、自ら行動できる福祉マインドを持つ
た人材を養成する」**

福祉学科「養成する人材像」

- 1) 社会福祉の理念に則り、常に対象者のQOL (Quality of Life) に配慮し、自立を支援できる人材。
- 2) 社会福祉の担い手として、高度な社会福祉の専門知識と技術を身につけ、情報化・国際化に対応できる人材。
- 3) 幅広い教養と豊かな人間性を涵養し、かつ、様々な個性を持つ対象者に適切に対応できる判断能力と応用能力を有する人材。
- 4) 対人援助専門職者として、常に自らを成長させる向上心と探究心を持ち続ける人材。
- 5) どのような状況下にあっても、対象者一人ひとりの考えや気持ち、立場に配慮し、対象者の意思を尊重した適切な福祉サービスを提供できる人材。
- 6) 対人援助専門職者として、社会福祉の理念や知識、技術を持ち、さらには心理学の知識と技術を併せ持つ人材。
- 7) 他の職域スタッフと連携を図りながら、増大・複雑化する保健・医療・福祉のニーズに対応した包括的サービスを実践できる人材。

2. 秋田看護福祉大学 アドミッションポリシー

建学の精神と学部、両学科の人材育成に関する目的と教育目標に則り、大学としての入学者受け入れ方針（アドミッションポリシー）を以下のように定めています。

アドミッションポリシー（入学者受入方針）

※学部共通

- ・人権や生命への尊厳の気持ちを持った人
- ・他者に対する思いやりの気持ちを持った人
- ・自らの責任において、主体的に学習しようという意欲を持った人
- ・周囲の人々と協力し物事を成し遂げようとする協調性を持った人

※看護学科

- ・看護師、保健師または助産師として、住民の健康の回復と維持に貢献したいという意欲を持った人
- ・常に向上心を持ち、時代の変化に対応できる柔軟な思考力を持った人
- ・地域社会や国際社会に貢献する気持ちを持った人
- ・他の人と協力して健康・医療サービスを提供したいと思っている人

※福祉学科

- ・福祉の分野で社会に貢献したいと思っている人
- ・人間の福祉に幅広い関心を持っている人
- ・福祉を必要とする人々の生活の自立を心身両面から援助したいと思っている人
- ・他の人と協力して福祉サービスを提供したいと思っている人

看護福祉学部福祉学科AO入試

AO入試では、次のような学生や社会人の方を広く求める。

- ・福祉関係の仕事や研究に一定の理解を示せる者。
- ・福祉学科で勉学することを強く希望する者。
- ・福祉学科にかかわりある資格を有する者
(例えば、ホームヘルパー資格等)
- ・特定の科目や分野に秀でた能力を持つ者。
- ・ボランティア活動ですぐれた活躍をした者。
- ・高等学校で福祉に関する課程を修めた者。
- ・今現在、福祉関連の施設や団体で働いている者。

※本学の入学試験を受験される方は、ぜひ参考にして頂ければ幸いです。